

## 製品安全データシート

製造者情報	会社名	株式会社エーゼット
	所在地	大阪市鶴見区茨田大宮1-7-59
	担当者	営業部
	電話番号	06-6915-3501
	F A X 番号	06-6915-1202
	緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号 AD010110MD02200※※	作成日	2014/05/01

製品名 H,Sシリコーンスプレー ドライ

## 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール

区分1

引火性液体

区分4

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである。

## GHSラベル要素



注意喚起語 警告

## 危険有害性情報

きわめて可燃性・引火性が高いエアゾール

物質の特定	単一製品・混合物の区別	混合物
	成分	シリコーン、LPG（噴射剤）
	化学式または構造式	混合物のため特定できない。
	官報公示整理番号	企業秘密のため非公表。
	C A S N o .	企業秘密のため非公表。
	国連番号	1950
	消防法	指定可燃物（可燃性液体類）
	労働安全衛生法	ブタン（通知対象物） 危険物（可燃性のガス）
	P R T R 法	非該当

## 危険有害性の分類

分類の名称 高圧ガス・可燃性ガス  
危険性

高圧ガスが入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある。

空気と混合して爆発性混合ガスを形成する。

高圧の液化ガスで可燃性である。

蒸気吸入により、めまい、手足の感覚麻痺、歩行困難等多発性神経炎の症状が起きる。

## 有害性

ごく弱いが麻酔性がある。又、液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす。

環境影響 現在情報なし

応急措置	目に入った場合 皮膚に付いた場合 吸入した場合 飲み込んだ場合	清浄な水で十分洗浄後、医師の手当を受ける。 水と石けんで付着した部分を洗う。 新鮮な空気のある場所に移し、必要なら医師の手当を受ける。 無理に吐かせないで医師の手当を受ける。 口の中が汚染されている場合、水で十分洗う。
火災時の措置	消火方法 消火剤	火元への燃焼源を断つ。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。 大変滑りやすいため、転倒しないように十分注意する。 霧状の強化剤、泡粉末または炭酸ガス消火器。 消火に棒状の水を使用しない。
漏出時の措置		周囲の着火源を取り除く。 漏洩した場合はできるだけ空容器に回収し、ウエス等で拭き取る。 大変滑りやすいため、転倒しないように十分注意する。 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
取扱いおよび 保管上の注意	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 取り扱い 保管	炎、火花または高温体との接触を避ける。 必要に応じて保護具を着用する。 常温で取り扱う。 大変滑りやすいため、転倒しないように十分注意する。 不要な場所に付着したら、直ちに拭き取る。 使用後は手洗い、うがいを十分する。 直射日光が当たらない屋内の涼しい場所で保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。
暴露防止措置	管理濃度 許容濃度 設備対策 保護具	データなし データなし 通気性を良くするため、窓、扉を開ける、または排気装置を設ける。 呼吸用保護具：通常必要ではないが必要に応じて防毒マスクを着用する。 保護眼鏡：飛沫が飛ぶ場合、普通型眼鏡を着用する。 保護手袋：長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。 保護衣：長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合、耐油性の長袖作業服等を着用する。

## 物理／化学的性質

	シリコーン	プロパン	ブタン
外観等	無色透明液体	無色透明液体	無色透明液体
臭気	なし	弱エーテル臭	弱エーテル臭
比重	データなし	(液) 0.50 (20℃)	(液) 0.59 (20℃)
沸点(℃)	データなし	-42	-4.9
融点(℃)	データなし	-188	-146.8
溶解度	水に不溶	水に不溶	水に不溶

## 危険性情報

	シリコーン	プロパン	ブタン
引火点(°C)	250以上	-90	-76
発火点(°C)	データなし	493	427
爆発限界	データなし	2.2~9.5%	1.8~8.5%
可燃性	データなし	あり	あり
酸化性	データなし	なし	なし
自己反応性	なし	なし	なし
安定性	安定	安定	安定
反応性	不活性	不活性	不活性

有害性情報	刺激性（皮膚、眼）	長期または繰り返し接触する場合、刺激性のある恐れあり。 目に入った場合、粘膜を刺激する。
	急性毒性	データなし

環境影響情報	分解性	データなし。
	蓄積性	データなし。
	魚毒性	データなし。

廃棄上の注意	廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。 また、確実にガス抜きをする。
--------	--

輸送上の注意	輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。 さらに、関連法令に従った措置も講じる。
--------	---

適用法令	消防法・・・指定可燃物(可燃性液体類) 海洋汚染防止法・・・油分排出規制(原則禁止) 下水道法・・・鉍油類排出規制 廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止) 高圧ガス取締法・・・一般高圧ガス保安規則第2条(可燃性のガス) 労働安全衛生法・・・ブタン(通知対象物) 危険物(可燃性のガス)
------	--

参考文献	1. ITRC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33 2. 許容濃度の勧告(1996) 日本産業衛生学会 産業医学 38巻 P.172-183 3. 製品安全データシートの作成指針(日本化学工業協会)
------	--

注意事項	本製品安全データシート(MSDS)は通常の実用性を想定して作成したものです。 MSDSは安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じた処理を行ってください。 MSDSの内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
------	--